

JIS

音響用語 (録音・再生)

JIS Z 8108-1984

(2002 確認)

(2007 確認)

昭和59年12月1日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

主務大臣：通商産業大臣 制定：昭和40.3.1 改正：昭和59.12.1 確認：平成7.7.1

官報公示：平成7.7.3

原案作成協力者：社団法人 日本音響学会

審議部会：日本工業標準調査会 基本部会（部会長 飯塚 幸三）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部標準業務課 情報電気標準化推進室（☎100-8921 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

音響用語 (録音・再生)

Z 8108-1984

(1995 確認)

Glossary of Acoustical Terms
(Sound Recording and Sound Reproducing)

1. 適用範囲 この規格は、音響の録音及び再生に関する主な用語について規定する。

2. 用語及び意味 用語及び意味は、次のとおりとする。

なお、参考として対応英語を示す。

- 備考 1. 二つ以上の用語を並べた場合は、その順序に従って優先使用する。用語に角括弧を付けた部分は、省いてもよい。
2. 用語の読みが紛らわしいものについては、用語の下に括弧書きで読みを示す。
3. 用語の意味の中に太字で示された用語は、この規格に集録されているものである。

番号	用語	意味	対応英語 (参考)
3001	録音	音の信号を再生することを目的として、録音媒体の状態又は形状を入力信号に対応するように変化させて記録すること。	sound recording
3002	再生	録音媒体に記録した音の信号を取り出すこと。	sound reproduction
3003	モノ録音	一つの録音媒体に、単一のチャンネルの録音をすること。	monophonic recording
3004	ステレオ録音	立体音再生を目的として、一つの録音媒体に複数のチャンネルの録音をすること。	stereophonic recording
3005	マルチトラック録音	テープの長さ方向に平行して複数のトラックを設ける録音。 備考 隣接するトラックの録音方向が反対であってもよい。	multi-track recording
3006	マルチチャンネル録音	複数のチャンネルを同時に用いる録音。通常、3チャンネル以上のものをいう。	multi-channel recording
3007	同期録音	映像又はあるチャンネルの音に同期させて、他のチャンネルに音を録音すること。	synchronized recording
3008	ダビング	録音された二つ以上の信号を組み合わせて再録音することによって、合成した録音を得ること。	dubbing
3009	複製	録音されている信号のすべて、又は一部を1個又は複数個の他の録音媒体に移す操作。	duplicating, copying
3010	録音ヘッド	電気信号を録音媒体の状態の変化に変える変換器。	recording head
3011	再生ヘッド	録音媒体の状態の変化を電気信号に変える変換器。	reproducing head